



テクノフォーラム

オーダーメイド農業の生産技術開発

ー第二次産業の技術を第一次産業へー

機械工業などの二次産業では、グローバル化による空洞化が課題であり、新規市場の開拓が求められています。一方で、農業などの第一次産業では、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）などにより、グローバルな視野を含めた競争力強化が必要とされています。特に、農業生産の効率化や品質向上のみならず、顧客の要求にあわせて、生産から消費までのサプライチェーンを形成する顧客志向型農業（オーダーメイド農業）が求められています。

そこで、機械振興協会技術研究所では、顧客志向型農業の促進と各産業活性化のため、機械産業で培った技術を農業分野へ適用する農工連携の取り組みとしてコンシューマーアグリ研究会を発足させました。

今回のテクノフォーラムは、「オーダーメイド農業の生産技術開発」と題し、農業法人やサプライヤなどの各立場から、農業生産の課題や農工連携の必要性と展望に関する講演、およびコンシューマーアグリ研究会のご紹介をします。このフォーラムにより、皆様のビジネスにお役立てできればと存じますので、是非ご参加頂けますようご案内申し上げます。

日 時：平成 25 年 11 月 8 日（金） 10:30～13:00(受付開始 10:00)

場 所：東京ビッグサイト 会議棟 701+702 会議室（東京都江東区有明 3-11-1）

参加費：無料（事前申込必要）

申込方法：下記アドレス HP より、お申込みください。

<http://www.jspmi.or.jp/tri/ca1108/>

主催：一般財団法人 機械振興協会 技術研究所

後援：日刊工業新聞社

協賛：開発技術学会、ORiN 協議会(事務局:一般社団法人日本ロボット工業会)、

公益財団法人栢森情報科学技術振興財団、かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会

プログラム内容

- 10:30～10:40 開会挨拶 機械振興協会副会長 技術研究所長 足立芳寛
- 10:40～11:20 ベビーリーフ生産の最新事情と果実堂の取り組み
(株)果実堂 栽培管理部 部長 高瀬貴文
- 11:20～12:00 スプラウト生産品質管理ーサラダ菜野菜への応用
(有)イソニン 代表取締役 津田晴樹
（有イソニンは 10 月 1 日からオズスベック㈱に変わります。
ー 休憩[12:00～12:15] ー
- 12:15～12:55 農工連携の突破口！ コンシューマーアグリ研究会とは
機械振興協会 技術研究所 技術開発センター センター長代理 飯塚 保
- 12:55～13:00 閉会挨拶 機械振興協会副会長 経済研究所長 増田峯明
都合により、プログラム内容が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先：一般財団法人機械振興協会 技術研究所 企画管理室（担当：長島清隆）

TEL:042-475-1155, または E-mail:forum@tri.jspmi.or.jp